

# 伏見っ子

学校の教育目標  
よく考え仲間とかかわって  
行動できる子

## 挑戦し続ける子どもに・・・

校長 岡田 優子

8月15日付けの中日新聞に、本校3年岩井唯遂さんが、南山消防グラウンドでセアカゴケグモを発見したという記事が載っていました。夏休みの自由研究で取り組んでいるときに、現地調査をして見つけたようです。興味をもったことをとことん調べる、そのためにあちこちに足を運ぶ、自ら学ぶ素晴らしい姿です。

また、8月20日付けの中日新聞にも、町民フリースピーチに本校5年須美椀さんが参加したと紹介されていました。子どもたちが安心して遊べる場所が少ないとして、公園の増設について、町議会で堂々と発表するという、これまた貴重な体験をしました。

この二人に、挑戦しようと思ったきっかけは何だったのか、また聞いてみようと思いますが、自らやろうと思ったのか、お家の方が背中を押してくださったのか、いずれにしても、きっかけを与えたり、一歩踏み出す後押しをしたり、そばでサポートしたり…私たち大人ができることはたくさんあります。様々な可能性を秘めた子どもたちが、自分の良さに気づき、その力を発揮していくためには、大人の力が必要です。

今日から2学期がスタートしますが、職員一同子どもたちの挑戦を全力で応援し、成長できるようにサポートしていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

夏休みに仮校舎が完成し、夏休み中をかけて、職員で引っ越し作業を行いました。大量の物を箱詰めし、部屋ごとに分け、配置場所をシールで示し…といった作業を繰り返し、学校運営協議会の方々にも手伝っていただき、作業を進めました。山のように積みあがった段ボールに、果たしてちゃんと運べるだろうか心配になりましたが、引っ越し業者さんが無事に運んでくださいました。

今度は箱から出して棚に配置する作業。こちらは、御嵩町の他校の先生方にも手伝っていただきました。大量の段ボール箱がどんどん減って、各教室が整えられていくのを見てあと少しでゴールだ！と嬉しく思いました。22日の登校日には、子どもたちも自分の机椅子や荷物を運び、引っ越しがほぼ完了しました。暑い中階段を上り下りしながらの移動は、本当に大変でしたが、上級生が下級生の机椅子を運んでくれたため、無事に終わることができました。24日のPTA作業で図書館の本を移動し、全ての作業が終わりました。

子どもたち、保護者の皆様、本校職員、地域の方々や他校の先生方、教育委員会の皆様、みんなでやり遂げた引っ越し作業。本当にありがとうございました。

また、2学期スタートに間に合うよう仮設校舎を建設してくださった建設業者さん、引っ越し業者さんにも、感謝しております。厚くお礼申し上げます。



机を運ぶ  
子どもたち



箱詰めをする学  
校運営協議会  
の方々